

第32回ミニ・ボランティアのつどい ～みんなであつまんべや～

日時 2014年3月30日(日) 13時30分～17時

場所 西部地域福祉センター 第1～3会議室・研修室

参加者数 62名

「第32回ミニ・ボランティアのつどい」は、大雪のために中止した『ボランティアのつどい』の計画の趣旨を引き継ぎ、規模を縮小して開催しました。

リレートークや体験、交流タイムを通して、ボランティア同士の交流とスキルアップのための体験学習からお互いを知り合う機会としました。また、会員だけでなく、地域でボランティア活動をしている方々とつながっていくことを目指しました。

「第32回ミニ・ボランティアのつどい」の実行委員会と志津地区社協、ユウカリが丘地区社協他、学生さん、当日協力していただいたボランティアの皆さんの力で盛り上がった良いつどいになりました。

<リレートーク>

コーディネーター 松山 毅 先生(順天堂大学 スポーツ健康科学部健康学科准教授)

①子育て支援：任意団体「モモの広場」 清水佳子さん

有志と共に「モモの広場」を設立。2007年に地主に土地を借りてスタート。翌年現在の染井野の七井戸公園のそばに移転。

毎月1回アウトドアを中心に大人も子どもも一緒に活動する。自分たちで作った石窯でピザを焼いて食べる。その他ログハウス、遊具、井戸掘りなど自分たちで作る。田んぼ体験(田植え・稲刈り)虫の観察と遊びなどの活動も行う。近くの染井野小学校のまち探検のコースになり自火で焼き芋をしている。普段火を使うことが少ない子どもたちには大好評。普段できない体験がこの「モモ」では体験できる。また、年2回地域の方との交流の場として「手作り市」を開催している。他の団体が「モモの広場」を使って活動することで、団体と団体がつながったりしている。



自分の好きなことだから続けてこられた。子どもの笑顔が楽しみで活動している。

②地域交流：「ふれ愛喫茶」長谷川大美さん(志津地区社協 志津ふれ愛センター長)

平成15年のふれあいサロン100円喫茶がふれ愛喫茶の原点。「ともに歩む福祉プラン」を取り入れて、コミュニティの場として常設の喫茶を地区社協とは別に独立採算制でスタート。活動人数は40名。店長6名、チーフ7名、スタッフ25名、会計2名シフト制(半日)。月曜日から金曜日の10時30分から16時30分開いている。利用はグループ客が7割、一人で来る人が3割だが、一人での利用が増加の傾向にある。

「喫茶」は地区社協の福祉委員とボランティアで運営。一緒に活動することでその距離が縮まった。当初は意見の対立などもあったが、価値観を共有することで改善された。活動の原動力の一つにコミュニケーションがあり、お客さん同士、お客さんとスタッフ、スタッフ同士の交流の場になっている。つなぐ仕組み作りになっている。

③高齢者支援：佐倉市社会福祉協議会ボランティアセンター 菅原喜美恵さん

ボランティアセンターは、個人ボランティア125人と94団体が登録しており、ニーズと人をつなぐ役割をしている。高齢者支援には、お話相手・配食サービス・移動サービスがある。配食サービスの活動団体は11。対象者は団体によって多少異なるが70歳以上の一人暮らしの方に手作りのお弁当を月1回届けている。1食450円の材料費は、赤い羽根の募金などから拠出される。お弁当を届けているだけでなく、その方の様子を聞くなど、安否確認の役割もある。一つの事業(配食)を通して、いろいろな人をつないでいる。

◆質疑応答では、「ふれ愛喫茶」や「モモの広場」の活動資金や運営の話し、「配食サービス」などを通して、有償ボランティアの是非等、活発な意見交換がおこなわれました。

コーディネーターの松山毅さんからは、「いろいろな人がつながっていく。いろいろな人を巻き込んでいく。コーディネートして仲間を増やしていく。昔は当たり前だったことを今は意図的にしないとできない。ボランティアは人と社会をつなげている役割を果たしている」とのまとめがありました。

<体験タ〜イム>

協力：志津地区社会福祉協議会・ユウカリが丘地区社会福祉協議会、学生4名

- ①高齢者疑似体験 段差、券売機（お金を出して切符を買う）、申請用紙の記入
- ②アイマスク・ガイド体験 段差、買い物（お金を出して飲み物を買って、コップに入れて飲む）障害物（すだれ）を通る、狭い所を歩く



【高齢者疑似体験で体験セットをつけています】



【アイマスク・ガイド体験で飲み物を購入】

<交流タイム> 😊

協力：志津ジュニアリーダーズクラブ 7名（大人3名・高校生2名・中学生2名）

- ①みんなで体を動かそう！ミミズの体操と足ジャンケン
- ②じゃんけん大会 2名入賞 賞品：ファンヒーターとホテルのディナー券2名分



[アンケート・実行委員のふりかえり]

- ・高齢者疑似体験、アイマスク体験により不自由な人の気持ちを理解しなければを痛感した。
- ・じっくりテーマに添った話が伺えて良かった。
- ・ミニということで変更した味の濃いつどいだった。祭りの部分が多かったので良かった。集中できた。
- ・あらゆる所で人材を募集しているのが分かった。
- ・ブースがないと淋しいもんだねえ。
- ・スタッフの力があふれる知恵をしっかりとつかんでいて満足。実行委員が一人一人がんばっていたが、更にみんなで助け合って一つになった今までない仲間の絆ができた。
- ・ジュニアリーダーズクラブの子どもがリードしてくれると素直に聞ける。楽しかった。